

# 読書ボランティア紹介

## おはなしポケット (福田小学校でのおはなし会)

子ども読書推進のために

### おはなしポケット (川俣町)

令和2年11月2日(月)訪問

**登録人数** 13名 (令和2年現在)

**創設年月** 平成8年

**活動場所** 川俣町中央公民館、保健センター  
川俣町内各幼稚園・保育園・小学校等

**活動内容** 読み聞かせ、エプロンシアター、人形劇、紙芝居  
パネルシアター、テーブルシアター、大型絵本等

おはなしポケットは、川俣町中央公民館による読書ボランティア団体設立の募集をきっかけに活動を開始し、今年で24年目となりました。これまで、川俣町立幼稚園や保育園、小学校をはじめ、地区公民館や集会所、保健センターなどで「おはなし会」を開催し、子どもたちに楽しく心温まるお話を届けてきました。

川俣町の子どもたちの心を豊かに育てる読書活動を長年にわたり続けてこられた功績により、平成27年に福島県社会福祉協議会より県知事賞を、平成28年には、ボランティア活動県知事賞を受賞されました。

子どもたちの成長に合わせたおはなし会ができるようにと、現在もレパートリーを増やし、読み手がそれぞれに練習に励んでいます。

時折、町で出会った方や高校生が「おはなしポケットの方ですよ。」とうれしそうに声をかけてくださるそうです。おはなしポケットは、大人になった卒業生の心にも残るすてきなお話を届けています。



### 活動の実際

訪問当日のおはなし会は、福田小学校のフリー参観日に合わせて開催されました。福田小学校の全校生とともに、保護者の方もお話の世界を味わいました。

おはなし会の冒頭に「6年生は今日が最後になりますね。幼稚園のときから聞いてくれてありがとう。小学校の思い出となってくれるとうれしいです。」とお話がありました。

絵本の読み聞かせでは、読み手の方の情感あふれる語り口に、会場の全員がじっと話に聞き入ります。紙芝居や大型絵本では、ユーモラスな話の展開に子どもたちはくすくす笑ったり、思わず「えーっ！」と声を上げたりしていました。

ペープサートでは、ストーリーの面白さと、楽器を使った効果音に、子どもたちは大興奮！ さらに、福田小の先生も鬼役で参加していたことを知り、会場は大きな拍手に包まれました。

熟考された選書とプログラム構成、そして、日々の練習の積み重ねが、満足感でいっぱいの子どもの笑顔につながっていると感じたおはなし会でした。

### ●プログラム●

- 1 はじめのことば
- 2 絵本「狐」
- 3 紙芝居「おぶさりてい」
- 4 大型絵本「すてきな三人ぐみ」
- 5 ペープサート「日天さん月天さん」
- 6 おわりのことば

「いつもお話が面白いので、年に2回のおはなし会を楽しみにしていました。今日のような楽器を使ったお話を初めて聞いたので、とても楽しかったし、印象に残りました。もう、小学校でお話を聞くことができないのが残念です。」  
(6年生女子)

「毎年お話の内容も違うし、低学年から高学年までみんなが盛り上がります。高学年向きのお話でなくても、読み方を工夫して誰もが楽しめるように考えてくださっているところが素晴らしいです。」  
(2年生・6年生 保護者)

「おはなしポケットさんは、子どもの目線で考えてくださっていることがよく分かります。子どもがおはなし会の様子を家でも話してくれるので、よいコミュニケーションの機会になっています。」  
(6年生 保護者)